

わたしたちが
つくったまち、
そだてるまち
キセラ川西




キセラ川西
Kisela Kawanishi

工場跡からの、 新しいまちづくり

- 「キセラ川西」は、川西市の中心部から北に約1kmに位置する、面積約23ヘクタール(甲子園球場約6個分)の新しいまちづくりのエリアです。
- もともと工場が集まっていた場所でしたが、平成7年(1995年)、新たなまちづくりをめざすため、地元から「この場所を新しいまちに変えていこう」という動きが生まれました。
- そこで、未来の川西を牽引するまちづくりに着手することとなり、市が工場から出る污水の前処理場を撤去、更地にした上で、平成20年(2008年)から、基本となる構想、公園や遊歩道などのまちの設計図づくりに取り組んできました。



工場



污水前処理場

昭和58年
(工場最盛期)



昭和58年(工場最盛期)

川西のあたらしいまち、 キセラ川西 誕生

- 「キセラ川西」ではキセラ川西せせらぎ公園を中心にさまざまな施設が集まり、つながるとともに、市民・民間事業者・専門家・市などが協働して、未来の川西をリードするまちをつくっています。

まちの愛称「キセラ川西」

輝きや希望を表す「キ」、まちを象徴するせせらぎの「セ」、都(洛)を想像させる「ラ」を合わせ、韻の響きが良く、口ずさみやすいオリジナリティーのあるものとして、市民公募により名付けられました。

こだわりあふれる、
みどりとせせらぎの
まち

キセラ川西 KiseLa Kawanishi

まちを楽しむ
ひと、活動が
生まれる
まち

一步すすんだ、
ハイグレードな
まち

暮らしの
いろんな
シーンを
楽しむまち

令和2年
(工事完了期)



令和2年(工事完了期)



エリアの
スポット



キセラ川西せせらぎ公園・
せせらぎ遊歩道

こだわり
あふれる、
みどり
せせらぎの
まち

「キセラ川西」の真ん中にある、
キセラ川西せせらぎ公園。
「多くの方が愛着をもち、市民
の皆さんとともに成長する公
園」をコンセプトに、市民の皆
さんと一緒に公園をつくって
きました。まちの魅力を育て
ていくために、市民とまちを
つなぐ場所となることをめざ
しています。



キセラ川西せせらぎ公園・せせらぎ遊歩道

こだわりのいっぱいあった、 市民が関わる公園整備

●公園づくりワークショップの開催

せせらぎ遊歩道の設計、その使い方、さらにどんな活動をしたら良いかなど、使い手の市民の皆さんが、自分たちのものとして使ってもらえる公園づくりをめざして、10年にわたってワークショップを開催、延べ86回、約1,860人の市民が参加しています。(2021年3月時点)

●市民の手・発意によるみどりづくり

公園のシンボルツリーであるエドヒガンの大木や台場クヌギは、日本一の里山と言われる黒川地区より移植したものです。芝生広場は、市民の参加による芝張りワークショップを取り入れたものです。また、芝生の周りのエドヒガンは、市民の方々が植樹されました。



芝張りワークショップ

●水辺に触れられる、水生生物に配慮した環境づくり

せせらぎ水路は、生き物が育ちやすい環境を専門家と相談しながら整備しました。夏場は子どもたちの遊ぶ声が響く、人気のスポットです。

●公園管理棟「パークオフィスキセラ丸」の整備

公園を使う人たちが活用できる公園管理棟の設計と施工の一部を、市民の皆さんと一緒に取り組みました。

●防災設備やまちの記憶を留める施設

公園には、災害が起こった際の防災設備がいくつも整備されています。また、かつて工場があった歴史を今に伝えるモニュメントも設置されています。

いろいろな使い方ができる公園づくり

キセラ川西せせらぎ公園は、つくった後もみんなで使いながら、育てる公園をめざしています。見て・触れて・感じて下さい。

●環境を楽しく学べるしくみづくり

公園のエネルギー、自然、災害利用の紹介を行う公園探検ツアーなど、保育園・幼稚園児や小学生がキセラ川西や環境について楽しく学べるしくみづくりに取り組んでいます。

●使いやすい公園のための手引きづくり

公園を市民の皆さんにどんどん使ってもらい、魅力的な場所に育ててもらうためのガイドラインがあります。活用して公園を楽しみましょう。



プレーパーク

interview

子供たちが
自由に
思いっきり
遊べる
公園に
したい！



キセラ川西プレーパークの会
プレーパークネーム:よおこ

「子どもたち主体で思い切り遊べる公園にしたい」って言うてみたら、同感している人たちがいて、今のプレーパークの会につながっています。プレーパークがなくても自由に遊べるよう、公園のルールやどう使いたいかを市民が自由に集える「キセラ・カフェ」で話したりもしています。これからの公園の成長も楽しみです。

仲間の
知り合い
ができて、
ここに来る
楽しい！



キセラ川西プレーパークの会
ホタル復活プロジェクトチーム
田村幹夫さん

「市民と一緒に構想を作るんだ」と市の方から聞いたときは、正直びっくりしました。それから参加したワークショップは本当に楽しく、勉強になりました。キセラ川西は、私にとっては、みんなが交流できる、つながるきっかけをつくる場所。これからのまちが楽しみです。

キセラ川西の
低炭素のまちづくり

一歩すすんだ、
ハイグレードな
なまち



エコまちラベリング・建築賞

自然エネルギーを活用し建物で使うエネルギーを抑える、できるだけ徒歩や自転車、公共交通を利用する…他のまちとは違う、一歩進んだ工夫を取り入れ、環境にやさしいまちをめざしています。

そのために、わたしたちの暮らしにも影響を与える地球温暖化の原因の一つ、二酸化炭素(CO₂)の排出を減らす取り組み(低炭素化)に力を入れています。



エコまち建築賞表彰

低炭素のまちづくりを進めるしくみづくり

キセラ川西では、国の法律「エコまち法」にもとづいた計画をいち早く作成し、低炭素まちづくりを進めています。

- 建物の低炭素化や交通のルールづくり
建物を建てる際に施主や事業者の方に対して、低炭素につながる取り組みへの協力をお願いする、キセラ川西独自のルール(運用基準)を作成しています。
また、鉄道事業者やバス事業者などと、車の増加を抑え公共交通の利用を促すまちづくりを進めています。
- 頑張りが見える形にする「モニタリング」
市民や事業者の皆さんの協力を得ながら、地区のエネルギーの使用量や二酸化炭素(CO₂)の削減量が見える形で公表しています。

低炭素の取り組みを評価するしくみづくり

- 取り組み状況が一目でわかる「ラベリング」
ルールにもとづいた取り組みを、星の数で評価する「ラベリング」制度を取り入れています。
- 優れた取り組みを表彰する「エコまち建築賞」
特に優れた取り組みを行った建物については、その取り組みを評価し、「エコまち建築賞」として表彰しています。



エコまち建築賞受賞物件

interview

キセラ川西で
豊かな暮らしを
楽しんでいただけ
たいです!



京阪電鉄不動産株式会社
マンション事業部
藤山勇太さん

建設当時は公園も工事中、「本当にまちができるのか」と不安になりましたが、川西市さんの本気度が半端なく「きっと良いまちになる、我々もそれにこたえたい」と意気込みました。

アーバン・スロー・ライフ、都会とスローな暮らしが両方楽しめる場所というコンセプトで、ユニークな緑、省エネルギーの工夫もふんだんに取り入れ、エコまち建築賞も頂くことができました。

住まいの主役は、そこに暮らす皆さん。木々が育つように、キセラ川西がますます良い街になるよう、皆さんで育ててもらえればと思います。



キセラ川西オリヴィエ

暮らしの場となる施設の整備や誘致

キセラ川西では、地区内での暮らしの場に必要な公共施設、病院、共同住宅の整備や民間による商業施設の誘致が行われています。

- **文化市民活動の拠点となる公共施設(キセラ川西プラザ)**
市民ホール(1,000席)や、市民団体などが利用できるスペースを設けた公共施設「キセラ川西プラザ」を整備しました。低炭素にも配慮した施設になっています。
- **病院の整備(川西市立総合医療センター)**
キセラ川西内に、市民の健康・医療の拠点となる病院施設を整備する計画が進められています。

- **共同住宅の誘致(キセラ川西オリヴィエ)**
事業で生まれた市の土地を活用して、民間の共同住宅(202戸)を誘致しました。生活に役立つ施設の併設や緑化や省エネなどが優れた取り組みを実現しています。
- **民間による商業施設の誘致(オアシスタウンキセラ川西)**
いろんなシーンを楽しむキセラ川西の拠点として、民間誘致によるスーパーマーケットなどの店舗や温浴施設、ホームセンターなどを備えた商業施設が整備されました。

民間事業者の力を活用した新しいまちづくり

キセラ川西では新しいまちづくり手法(PFI事業)を導入し、公園や道路などのまちを支える施設の整備から、できた後の維持管理を一元化して取り扱っています。またこの過程では、市民ワークショップなどを実施し、市民のみなさんと一緒にまちづくりを進めています。

住宅や商業施設、病院、公共施設など、暮らしに必要なさまざまな施設を集めたまちづくりを進め、住む・働く・遊ぶ・憩う…といったいろんなシーンを楽しむまちとなることをめざしています。



公園オープニングセレモニー

複合型のまちづくり
キセラ川西の



キセラ川西プラザ

オアシスタウンキセラ川西

Interview

オアシスタウンが、長らくみなさんに愛されていますように！



株式会社阪急オアシス開発部
SC管理課担当課長
山下真弘さん

一からまちをつくっていく、まちづくりに参加できるところに大きな魅力を感じました。今でも、屋上から眺める景色が大好きで、「まちが大きく変わったなあ」と感慨にふける時があります。

訪れる方にゆっくり過ごしていただけるよう、お店や広場のづくりも工夫し、イベントも開催しています。周辺にお住まいの皆さんや、訪れる皆さんにとって、オアシスタウンが「なくてはならない存在」になりたいですね。



オアシスタウンキセラ川西



かわにし音灯り



ロハスパーク



まち
生まれ
活動が
ひと、
楽しむ
まちを

キセラ川西のひと・
活動を育むしくみづくり



芝生エリアオープン まちを楽しむ第一歩

まちに命を吹き込むのは「ひと」。まちを使いなす主役は市民。そんな思いから、キセラ川西では、まちを楽しみ育てるひとや、そこで営まれる暮らしや活動を支えるためのしくみづくりに取り組んでいます。

まちの楽しみを促す場

●まちのシンボル「キセラ川西せせらぎ公園」

キセラ川西せせらぎ公園がまちのにぎわいの中心になっています。市民が手掛ける「かわにし音灯り」、おしゃれでエコな「ロハスパーク」などの様々なイベントが催されています。足を運んでまちを楽しみませんか。

●市民発のプロジェクト・活動

市民の手により、ホテル復活プロジェクト、プレーパーク活動、公園のお掃除イベント、キセラ丸・この指トマレプロジェクトなど、さまざまなプロジェクト・活動が生まれています。ぜひ参加してください。



公園のお掃除イベント

公園を通じた活動を促す場

●公園に関わる人の出会いの場「キセラ・カフェ」

キセラ川西せせらぎ公園で何かやってみたい人、公園やまちのことをもっと知りたい人、あるいは、公園やまちのことをまだよく知らない人が、出会い、交流し、公園やまちについて、共に語り合う「場」が、定期的で開催されています。あなたも輪に加わりませんか。

低炭素まちづくりを促す場

●市民・事業者や専門家などによる「エコまち協議会」

キセラ川西の低炭素の進み具合を定期的に確認し、より良いまちづくりを進めるため、市民・事業者・専門家や市の機関が話し合う「エコまち協議会」を開催しています。



エコまち協議会

interview

公共性を
持つ市民を
一人でも
増やしてい
きたい！



NPO法人 市民事務局かわにし
三井ハルコさん

「キセラ川西」は、15年前にNPO法人を設立したころから、「まちづくり講座」の中で「市民で考える会」などを開催して着目してきました。その後、川西市主催のワークショップにも、まちづくり系「中間支援組織」NPO法人の経験を活かしつつ、一市民として参加してきました。「キセラ丸・この指トマレプロジェクト」では、趣旨に賛同してくださったメンバーと一緒にオープニングイベントを作り上げることもできました。今後も「場」を編み、紡ぎながら、みんなの動きをサポートしていければ…。キセラ川西、ますます楽しみです。



この指トマレプロジェクト



キセラ川西の年表

【まちの計画】

低炭素などを誘導する自主ルール (エコまち運用基準)を策定 H26.3

日本計画行政学会計画賞受賞 H26.2

建築行為等の手続条例を制定 H25.12

民間事業者との協定を締結(PFI事業) H25.9

低炭素まちづくり計画(エコまち計画)を策定 H25.3

地区の低炭素のまちづくりなどを協議する「エコまち協議会」を設置 H24.8

せせらぎ遊歩道、中央公園(キセラ川西せせらぎ公園)の計画を決定 地区のまちづくりの指針を策定 H24.3

【まちの転換】

工場の排水を処理する火打前処理場を停止し、撤去事業が完了 H17.12

工場の撤去事業に着手 H15.11

再開発の事業(住宅街区整備事業)を決定(その後、社会情勢の変化などでH15に中止) H10.12

地元の皮革工業共同組合から再開発に対する要望 H7.3

【まちのオープン】

R4 病院施設(川西市立総合医療センター)がオープン予定

R2.7 土地区画整理事業における換地処分の公告

R1.7 商業施設(オアシスタウンキセラ川西)がオープン 先進的まちづくり大賞・都市みらい推進機構理事長賞受賞

H31.4 キセラ川西せせらぎ公園管理棟(パークオフィスキセラ丸)がオープン

H30.9 低炭素型複合施設(キセラ川西プラザ)がオープン

H30.12 兵庫県人間サイズのまちづくり賞・奨励賞・花緑部門へ受賞

H29.7 キセラ川西せせらぎ公園・せせらぎ遊歩道が整備、オープニングフェスタを開催

令和

平成

H23.6 地区のまちづくりの方針を策定

H23.3 土地区画整理事業が認可

H22.12 地区の土地利用基本計画を策定

H22.7 土地区画整理事業を決定

H20.3 地区の土地利用基本構想を策定



SDGs(持続可能な開発目標)の実現へ

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。SDGsの実現に向けて、キセラ川西地区においても「都市機能の集約化」「キセラ川西低炭素まちづくり計画の策定」「地区のエネルギーモニタリング」「環境学習」「市民参加のまちづくり」「市民協働、活動団体との連携」など、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。



「キセラ川西で暮らすことができ、楽しい」
「キセラ川西に進出して良かった」
「キセラ川西が大好き」
「川西市にこのまちがあることを自慢できる」…、
「わたしたちのまちとして、
みんなで育てていきましょう。」

発行:川西市

お問い合わせ先

■土地区画整理事業に関すること
川西市 都市政策部 都市政策課
〒666-8501 兵庫県川西市中央町12番1号
TEL:072-740-1201 FAX:072-740-1323
E-mail:kawa0183@city.kawanishi.lg.jp

■低炭素まちづくり事業に関すること
川西市 土木部 公園緑地課
〒666-8501 兵庫県川西市中央町12番1号
TEL:072-740-1185 FAX:072-740-1330
E-mail:kawa0040@city.kawanishi.lg.jp

